

温泉の利用状況について

泉 質： ナトリウム・マグネシウム・カルシウム-硫酸塩・炭酸水素塩温泉
(低張性 中性 温泉)

温泉成分の特徴： 無色澄明、無味、無臭
(分析場所：源泉)

源泉の温度及び湧出量： 40.0℃ ---リットル/分 (自噴)

※詳細は別紙温泉分析書のとおり (直近成分分析年月日：R2.3.24)

浴槽の種類とその状況： 大浴場、露天風呂 (全て温泉水を使用)

循環、かけ流しの状況： 大浴場、露天風呂・・・循環・かけ流し式併用式
(温泉資源の保護及び浴槽内の汚れを除去するため、浴槽に新しい温泉を注入しながら浴槽水を回収し、ろ過、加温して再利用しています。)

加水の状況： なし

加温の状況： 入浴に適した温度に保つため、特に冬場に加温しています。

新湯との入れ替わり状況： ー

入浴剤等の添加： なし

衛生管理状況について

浴槽の清掃状況： 浴槽は、毎日完全にお湯を抜いて、清掃を行っています。シャワーは、週1回以上通水し、年2回以上の点検を行っています。点検の際に洗浄し、併せて消毒を行っています。

浴槽水の消毒状況： 衛生管理を確実にを行うため、塩素系薬剤を投入し、浴槽内の塩素濃度を1日3回確認することにより、細菌の増殖を防いでいます。

水質検査の頻度： 日常的な衛生管理を行うとともに、レジオネラ属菌の防止状況の確認を行うため、年2回実施しています。

※水質検査証は別に表示

令和 2年 3月24日

施設名 小山旅館

温泉は限りある資源です。大切に使いましょう。

熊本県温泉協会